



へきけんニュース

平成28年5月13日発行 第50号

☎0154-44-3291 FAX0154-44-3292
ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

電子メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

《目次》

- ◆ 学校・地域教育研究支援センター長挨拶
- ◆ へき地教育研究支援部門構成員・業務紹介
- ◆ HATOプロジェクト（へき地・小規模校教育）取組
- ◆ へき地校体験実習協力校一覧



《センター長 挨拶》

昨年10月より、学校・地域教育研究支援センターのセンター長を務めております副学長（社会貢献、教員養成改革担当）の蛭田眞一です。「センター」を構成する3つの部門の活動がより充実したものとなるための環境整備に尽力してまいります。よろしくお願いいたします。

学校・地域教育研究支援センター
センター長 蛭田 眞一

へき地教育研究支援部門が、「へき地校体験実習」という大きな事業の推進に加えて、ここ3年ほどHATO（へき地・小規模校教育）プロジェクトに係わり、いくつもの成果を挙げてきたことに敬意を表したいと思います。

さて、平成28年度から第3期中期目標・中期計画期間に入り、本学の教育・研究活動は新たな展開を求められています。へき地・小規模校教育については、HATOプロジェクトとしては昨年度で終了しましたが、平成28年度の年度計画では、「小学校英語教育及びへき地・小規模校教育の成果を積極的に情報発信するとともに、本学教員による出前授業の実施等により、HATO4大学を中心とした相互交流等を行う。」と明記され、「へき研部門」の業務として、HATOプロジェクトの成果を踏まえた、へき地・小規模校教育活動の実施が求められています。このことは、へき地・小規模校教育が、本学の教育研究活動における重要な要素の一つとして、位置づけられていることを示し、それを担っているのが「へき研部門」であるということです。

へき地教育研究支援部門は、釧路校内に活動拠点が置かれていますが、全学組織であり、本学におけるへき地・小規模校教育の研究という視点をもった活動が今後とも推進されていくものと思います。そして、「へき地校体験実習」に足場をしっかりと置いた活動から、教育内容の充実と研究の発展があると考えます。

「へき研部門」のメンバーはもちろん、へき地・小規模校教育に関心のある皆さまの「へきけん」への多方面からのご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。

2. 平成28年度 へき地教育研究支援部門構成員の紹介

平成28年5月1日現在

平成28年度のセンター部門運営を担うセンター員、アドバイザー、担当事務の方々です。よろしくお願ひします。

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
センター長	蛭田 眞一	副学長	センター員	越川 茂樹	釧路校
部門長	川前 あゆみ	釧路校	センター員	津田 順二	釧路校
センター員	前田 賢次	札幌校	センター員	戸田 竜也	釧路校
センター員	今 尚之	札幌校	センター員	中川 雅仁	釧路校
センター員	阿部 二郎	函館校	センター員	長谷 博文	釧路校
センター員	北村 博幸	函館校	センター員	廣田 健	釧路校
センター員	渥美 伸彦	旭川校	センター員	森 健一郎	釧路校
センター員	小出 高義	旭川校	へき地教育 アドバイザー	梅木 登喜雄	札幌校
センター員	小谷 克彦	旭川校	へき地教育 アドバイザー	宮武 一典	旭川校
センター員	坂井 誠亮	旭川校	へき地教育 アドバイザー	吉田 亨	釧路校
センター員	芳賀 均	旭川校	事務局	田中 郁	総務部総務課 広報・地域連携G
センター員	水上 丈実	旭川校	事務局	長谷川 美緒	釧路校室 総務G

3. へき研部門の主な業務

へき研では、以下の業務を主に担っています。

(1) へき地・小規模校教育に関する調査及び研究

『へき地教育研究』紀要第70号を刊行しました。へき地教育に関する論文は9本掲載されています。

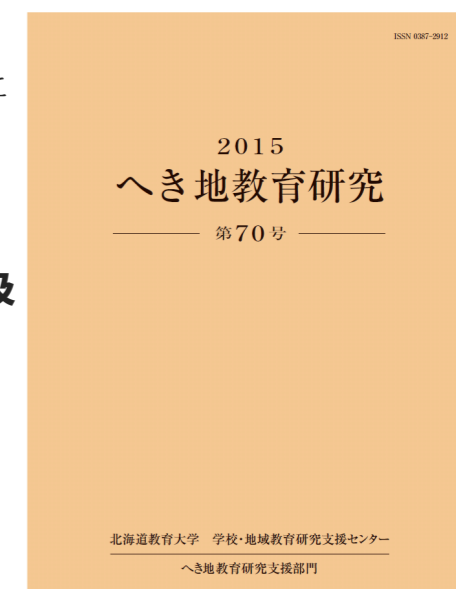
例年公募している「へき地教育研究」に関する個人研究計画は、今年度の部門会議を経て改めて6月に募集予定です。

(2) へき地・小規模校における教育内容・教育方法の研究及び開発

(3) へき地・小規模校の教育実践に関する企画及び推進

(4) 学生のへき地校体験実習の実施

平成28年度は、旭川・札幌・釧路3キャンパスにおいて123名が受講します。



2015
へき地教育研究
第70号

北海道教育大学 学校・地域教育研究支援センター
へき地教育研究支援部門

4. HATOプロジェクト(へき地・小規模校教育に関するプロジェクト)取組成果について

※ H:北海道教育大学 A:愛知教育大学 T:東京学芸大学 O:大阪教育大学

へき研では、本学のHATOプロジェクト採択（平成25年2月～平成28年3月）により、「へき地・小規模校教育に関するプロジェクト」を担ってきました。約3年にわたり、関係の皆様には各活動へのご協力をいただきましたことに改めてお礼申し上げます。これまでの主な事業取組は、本学の第3期中期目標・中期計画にも盛り込まれ、その計画を今後策定する予定です。

(1) へき地・小規模校教育に関するフォーラムの開催

平成28年2月に釧路市にて開催したHATOプロジェクトフォーラム（へき地・小規模校教育に関するプロジェクト）には約120名の参加をいただきました。HATO連携大学の愛知教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学の学生・共同研究員にも参加いただき、本学で推進しているへき地小規模校体験実習の成果発表をはじめ、HATO連携大学の学生による多様な実習の成果発表から教員養成段階における学びのあり方を協議しました。

(2) HATO連携大学への“出前授業”

HATO連携大学との研究交流の一環として、平成27年度も各大学に「へき地・小規模校教育」に関する“出前授業”を開講し、各大学で学ぶ学生・大学院生とへき地・小規模校の実際について理解を深めてもらう機会となりました。



HATO連携大学での“出前授業”の様子



(3) HATOプロジェクトによる教材開発

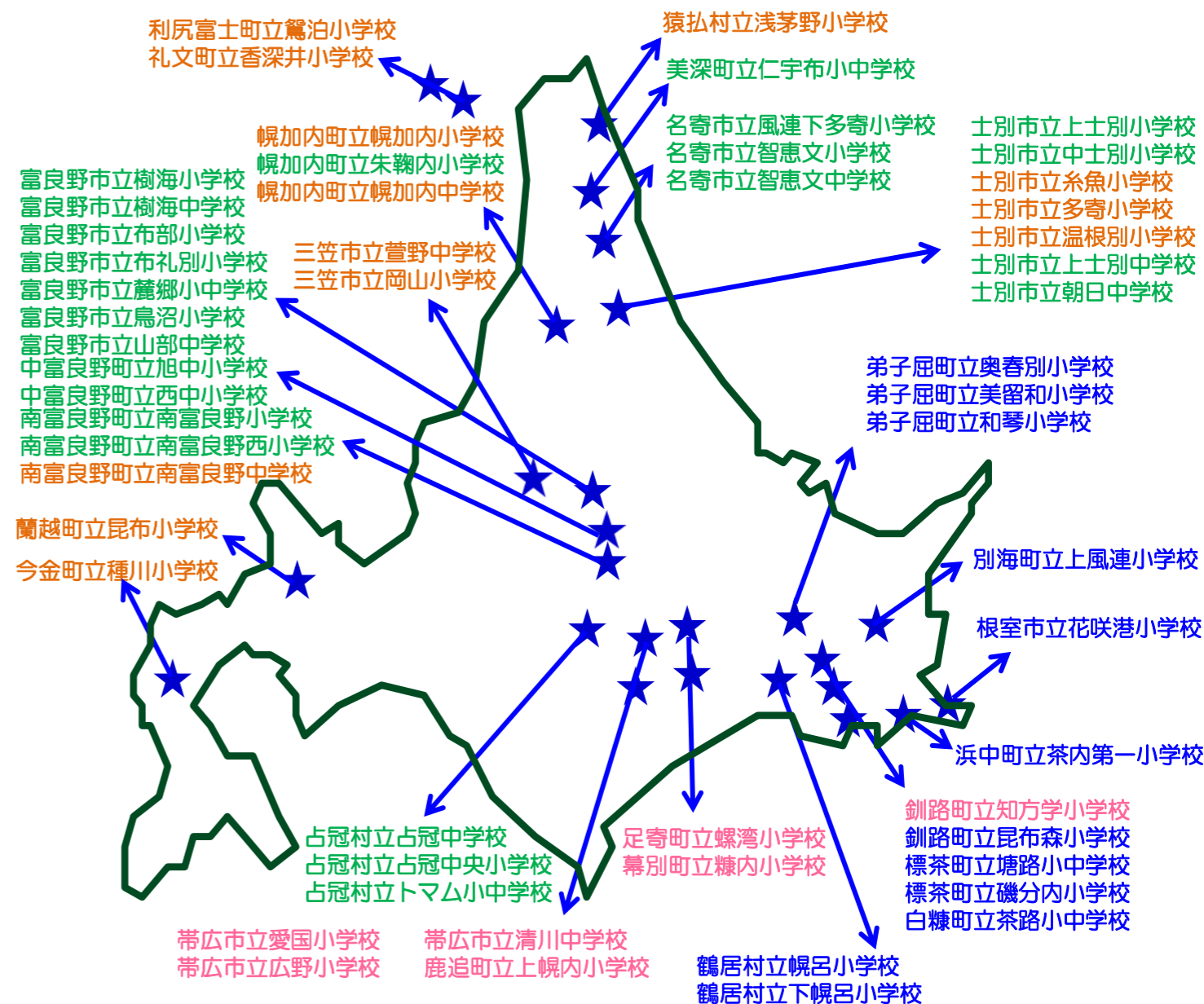
①「複式学級における学習指導の手引」
平成25年度は初版、平成26年度は一部改訂、平成27年度には改訂版を刊行しました。
主に本学の学生指導に活用していきます。

②「複式授業の映像資料（DVD収録）」
道内公立小学校のご協力を得て、中学年の算数、高学年の社会を収録しました。
複式学級における学習指導や少人数指導について学びます。



5. 平成28年度「へき校体験実習」実習協力校一覧

平成28年度は、全道26市町村実習協力校は55校、受講生は札幌校・旭川校・釧路校の合計123名が受講します。関係の先生方には、巡回指導等でへき地小規模校に訪問いただく機会もありますが、学生指導等どうぞよろしくお願いいたします。



平成28年度 実習協力校 26市町村 55校 実習生合計123名

橙字は夏期 13校
札幌校2・4年生対象

緑字は夏期 23校
旭川校2・4年生対象

ピンク字は夏期 7校
釧路校2年生対象

青字は秋期 12校
釧路校3・4年生対象